

☉ 陽来復御守

きんぎんゆうづう
金銀融通の御守とも申し、古来の吉例により

とうじ
冬至から節分迄の間毎日、穴八幡宮社殿に於て

お頒け致します

○おまつりする日時

冬至、大晦日、節分の内、いずれかの日が終わ
り翌日に変わる瞬間である夜中の十二時丁度
令和五年度の場合

冬至「冬至(12月22日)から翌日(23日)」

大晦日「大晦日(12月31日)から元旦(1月1日)」

節分「節分(2月3日)から立春(4日)」

○おまつりする場所、方角

下図の通り、おまつりする部屋の中心(日
頃、御家族が集まるリビングや居間等)から
方位を図り、来年の明きの方(恵方)である
寅卯(真東より少し北側)に一層来復の文字
が向く様、申酉(真西から少し南寄りの方
角)の壁か柱へ、御守を見下さない様、なる
べく高い位置へ、御守のうしろに糊をしっか
りと付けて剥がれない様、壁か柱へ時間通り
おまつり下さい。

※止むを得ない御理由により直接壁か柱にお
まつりできない場合、事前に白い画用紙等を
画紙などで隙間無く壁か柱へ固定し、その上
から時間通りに御守をおまつり下さい。

※御守を分解する事、御守を紙で刺す事、
テープを御守の上から被せる事はおやめください。

○一旦おまつりになった御守は一年間動かさなくてください。途中で落ちた場合や、引越等でやむを得ず
外す際は、なるべく早く当社社務所へ御納めください。(一度落ちた、外した御守は再びおまつりする
事はできません)

○この御守は、長い伝統のある当社御社宝から由来し、江戸時代の元禄年間より行はれた穴八幡宮だけに
傳來する特別の御守であります。近年、他の社寺で類似の御守を出して居る様ですが、穴八幡宮とは一切
関係がありません。御参拝の方は間違いない様、穴八幡宮の御社殿で御受けください。

○頒布時間 冬至から大晦日 朝八時から夜七時迄 正月から節分 朝九時から夕五時迄

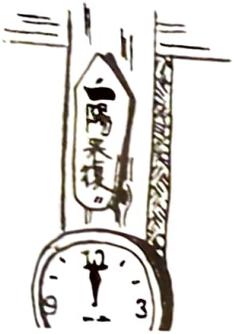
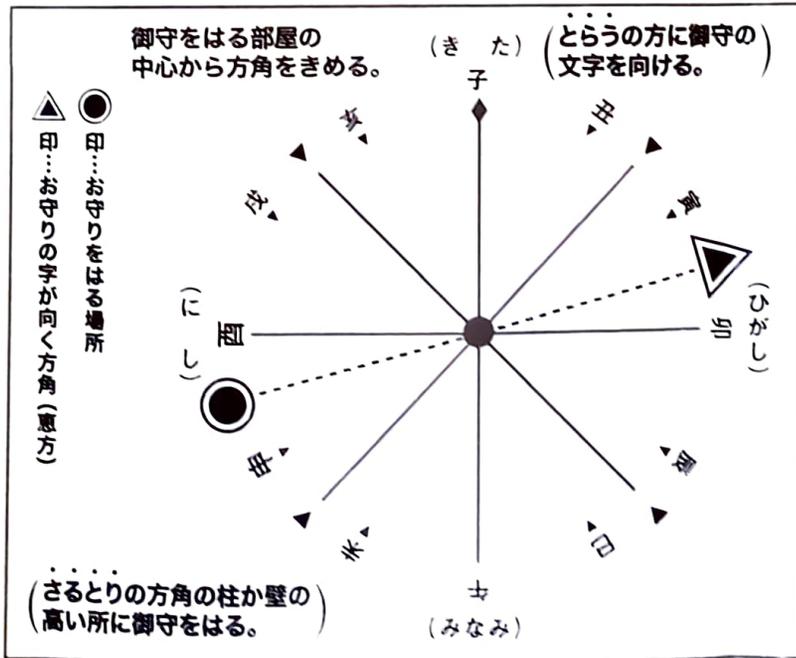
西側の壁か柱に貼る

東京都新宿区西早稲田二丁目一番十一号(牛込 高田)

(牛込局区内 郵便番号一六二一〇〇五一)

穴八幡宮社務所

電話 東京(〇三)三二〇三二一七二二番



2023/12/22~